

## ●一これからの活動について

京都青少年ゆめネットワークは以前から加盟しておりますが、協会の中ではあまり知られていない(理事、評議員)ような状況でした。ひょんなことから役員を送り込むようになり、ゆめっとの流れがようやくつながるようになると共に色々な団体が加盟した集合体であることが分かった。ゆめネットは若い人たちが立ち上げ活動の場としてきたのであろうが現時点では難しいかもしれない。せめて毎年開催しているフォーラムには若い人達が多く参加していただく集いに行かなければならない様に思います。それには本来早く骨子を決めて、場所を押さえることにより事前PRするのか、どのようにどの団体に伝えてゆくのが大切な活動ではないだろうか。

今はもう来年の10周年に向けたPRの時期であると思います。10周年を目標に一步前進したゆめっととして行くために、どんな汗をかいたらよいか、又どんな動きができるか必ず結果はついて来ると思う。10周年の記念事業に向けてがんばりましょう。

京都府レクリエーション協会

## ●次のステージに向けて

「ゆめっと京都」が誕生して10年、多くの人たちの努力で立派なネットワークが形作られてきました。次のステージでは、これがさらに実効力のあるものへと発展していくことを、心より願っています。

人間の脳は150億もの細胞からなる見事なネットワークですが、神経細胞をシナプスによって相互に結合することで、創造と学習の力を倍加させているそうです。

「ゆめっと京都」も脳の仕組みを応用して接合点(シナプス)の強化をはかることで、有機的なネットワークへと成長できるのではないのでしょうか。

そのために私たちは、参画団体同士の関係性をより深めるよう努力するとともに、ゆめっと事務局からの情報をただ「待つ」だけではなく、自立的に受発信していくことを心がけたいと思っています。

(財)京都ユースホステル協会 事務局長 正木隆之

●2005年より『京都青少年ゆめネットワーク』に参加させて頂いておりますセントジョンアンビュランスジャパン協会です。救急救命法の普及活動に取り組んでいますが、『ゆめっと』を通してAED(自動体外式除細動器)の更なる普及・情報発信が出来ればと考えています。

セントジョンアンビュランスジャパン協会 関西本部 事務局長 北田正明

## ●「京都青少年ゆめネットワーク十周年を迎えるにあたって」

当青年部は「京都青少年ゆめネットワーク」の設立に大きく関わりを持ってきました。

その「ゆめっと京都」が設立十周年を迎えますことを加盟団体の一つとして嬉しく存じます。

我々は、自立・共生・貢献を理念に掲げ、積極的に地域社会と関わりながら、青少年の自主的かつ継続的な活動を推進してまいりました。

これからも京都が誇る文化の力を生かして、青少年のネットワークを更に広げ、このまちの発展と若者がいきいきと活動できる場づくりに邁進してまいります。

社団法人茶道裏千家淡交会総本部青年部

## ●一この10年間を振り返って

10周年おめでとうございます。思えば事務局が京都府青年会館に設置されてもう10年を迎えるのですね。月日が経つのは早いものです。当協会も発足当時から加盟団体として活動してきました。最近では2005年8月14日(日)まち遊びフェスティバル2005(於 舞鶴市)で同実行委員会の皆さん方と協力し合っておもしろ自転車試乗や、タンデム自転車(二人乗り自転車)の体験を担当し楽しみました。これからも、自立、共生、貢献を目指して他の団体の皆さんと手を取り合っ

て事業を展開していこうと思っています。

京都サイクリング協会

## ●「京都青少年ゆめネットワーク10周年を迎えるにあたって」

このたび京都青少年ゆめネットワークが設立10周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

平成8年に設立されて以来、「自立」、「共生」、「貢献」を活動の基本目標を掲げ、業種や団体の枠を超えた様々な活動を展開され、府内青少年団体の中核的な役割を担っていただいているところであり、心から感謝申し上げますとともに、これまで御尽力いただいた多くの諸先輩方の御努力に対し、深く敬意を表する次第です。

さて、「人」と「人」とのつながりの重要性が叫ばれている今日、本会においても、農業青年組織の充実・強化を図るため、魅力ある活動の展開方法などを日々模索しており、次代を担う農業青年のネットワークづくりは大きな課題となっております。

この「ネットワークづくり」については、まさに貴ネットワークが設立当初から活動の根幹として実践してこられたところであり、これまで培われた経験と実績を活かし、府内青少年の交流拠点として、今後とも一層素晴らしい活動を展開されますことを心から期待しております。

京都府農業青年クラブ連絡協議会 会長 小西 誠

## ●「京都青少年ゆめネットワーク十周年を迎えるにあたって」

「ゆめっと京都」が記念すべき設立十周年という節目を迎えられ、微力ながら関わらせていただいた加盟団体として大変嬉しく思っております。

我々淡交会青年部の綱領にもあります「お茶を通じて良識ある近代人としての人間形成に努め、正しい地域社会発展のために努めよう」を実践していくためにも「ゆめっと京都」の数々の活動に参画することは大変有意義かつ重要なものと考えます。今後とも京都府内の青少年活動を行う皆様とともに連携し、「自立、共生、貢献」をめぐし、活動してまいりたいと思います。

社団法人 茶道裏千家淡交会京都四支部青年部連合会

## ●京都青少年ゆめネットワーク10周年まことにおめでとうございます。

私たち「京都青年中央会」は、ゆめっと京都が設立された当初から入会しており平成12、13、17年度に役員を輩出、主に広報のお手伝いをさせていただきながら、また平成13年度から始まった、府内13の青年団体が集う「京都青年団体会議」の開催にあたって、京都伝統産業青年会と連携し「ゆめっとファン」を活用させていただいています。

今後は、「ゆめっとファン」をより広く有意義に活用していただくことはもちろん、会員団体の活動や開催事業のPRができる場の提供など、団体間の橋渡し役になっていただき、夢のネットワークが更に広がることを期待しています。

京都青年中央会 会長 五十嵐 由紀

## ●京都青少年ゆめネットワーク10周年まことにおめでとうございます。

成基グローバルキッズ倶楽部ではゆめっとに加盟して4年ほどになります。その間、役員を出させていただき、主に、ゆめっとフォーラムのサポートをしてまいりました。このゆめっとフォーラムには、グローバルキッズ倶楽部で活動しているボランティアのリーダーも多く参加させていただき、非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。夢ネットワークという名の通り、今後とも、青少年が生き生き活動出来る団体が共に育っていけるような橋渡しの組織として活躍して欲しいと願います。10周年おめでとうございます。

成基グローバルキッズ倶楽部

●「夢」と「ネットワーク」でわたしたちのまちをより豊かに創っていこうという熱い思いをもった多くのみなさまに支えられて、「京都青少年ゆめネットワーク」が10周年を迎えられましたこと、心からお祝いを申し上げます。

京都府内で懸念に活動されておられる方々と出会い、「まちづくりは人づくりから…」ということを実感しました。なかなか自分たちの活動ばかりで「ゆめっと」の活動に積極的に参画できず申し訳なく思っていますが、同じ志をもつ多くの仲間がいて下さるということは大きな励みとなっています。

京都府の力強いご支援と大きな期待にこたえ、今後ますます生き生きとした活動を繰り広げていけることを願っております。

(社)ガールスカウト日本連盟京都府支部 副支部長 渡辺邦子

●ゆめっと10周年おめでとうございます。10年という大きな節目を迎え、本当に大きな仕事を成し遂げてきたかと思います。私どもも色々な場面でお世話になり、多くの事業でたくさんの人達を知り合え、つながりを感じることが出来ました。これからも多くの人とのつながりの中から喜びを生み出していきましょう。本当におめでとうございます。

NPO法人自然活動教育研究会エポ

## ●寛容と共生の時代にあって

アジア太平洋友好協会(通称APOF)は国際交流を基軸にアジア太平洋地域の日本における留学生の支援と日本の学生との交流を目的に設立されました。ゆめっと京都は加盟して6年になります。

10周年に向けて海外と国内の青年が、お互いに寛容と共生の精神をもってますます交流のネットワークが堅固になるように期待しております。

アジア太平洋友好協会